



## 農業総合センター 農業研究所 NEWS

### 農業研究所セミナーで「米」をテーマに消費者と意見交換

平成24年2月7日に、「関東の米どころ，茨城の米を考えるー美味しいお米の秘密ー」をテーマに農業研究所セミナーを開催しました。セミナーには，生協の組合員を中心に消費者の方々43名の参加をいただきました。農業研究所からは，お米を取り巻く情勢，米の食味についての情報提供を行い，本橋主任専技からは，米粉の加工・利用について説明いただきました。また，参加者にご飯や米の加工品の食味を行っていただき，生物工学研究所職員からも，新しい品種候補の説明等を行いました。

#### お米を取り巻く情勢と将来

TPPによる国内農産物への影響，米をめぐる消費の動向・生産の方向性，茨城県産米の地位について説明しました。また，それを受けて農業研究所で行っている高品質栽培技術，省力・低コスト栽培技術，環境にやさしい農業のための技術開発の取り組みについて紹介しました。

#### 美味しいお米とは

お米の食味について，現在行われている様々な評価法や農業研究所で取り組んでいる新たな食味評価の分析法の開発について説明しました。



## お米の加工・利用

総合センター本橋主任専技より、米粉利用の現状について報告がありました。小麦粉の代替品として米粉が注目されつつあり、現在は技術開発が進んで米粉の細かさによって、加工の向き不向きがわかってきたことが説明されました。また、県内の米粉を活用したパン屋やそば屋の取り組みについて紹介されました。

## 試食

参加者に「ひたち34号」、「新形質米」、「米粉うどん」、「固くなりにくい米を使った餅や米粉パン」の試食をしていただきました。いずれも高評価で、特に「ひたち34号」については、「冷めていてもおいしい」、「粘りがありモチモチしている」、「お弁当やお寿司に向いているのではないか」などの意見をいただき大変好評でした。また、最後にイチゴの新品種「いばらキッス」の試食もしましたが、こちらも大変好評で、「売っている場所を教えてください」との質問がありました。

## 意見交換

参加者からは、「消費者としても自給率向上や米の消費拡大に貢献したいと考えている」、「米粉が多用途に使えることが分かったが、米粉の規格が統一されていないので消費者が分かりやすい規格表示を確立して欲しい」、「戸別所得保障制度による生産者への所得支援や担い手の育成について、県における取り組みについて教えてください」等の意見がありました。



農業研究所では、消費者からいただいた意見を参考にして、米の消費拡大、食料自給率向上につながる試験研究に取り組んでいきます。

## 早生で大粒・良質の水稲「ひたち 34 号」 の奨励品種採用

農業研究所では、水稲・麦・大豆等の優良品種の選定を行っています。水稲では、県内の作付けの8割を占める「コシヒカリ」との作業分散が図れる熟期で、栽培性および収量・品質・食味の優れた品種の選定を進めており、県育成の水稲「ひたち 34 号」を奨励品種に採用しました。

「ひたち 34 号」は、コシヒカリより1週間～10日早い熟期で、安定した収量および食味に加えて、一目見てわかる粒の大きさ（千粒重でコシヒカリより約3g重い）と、優れた品質（粒揃いが良く、白未熟粒の発生が少ない）を併せ持っています。また、炊飯試験の結果、炊き増えと冷めてからの食味で高い評価を得ており、業務用途への販路も期待できます。

今年度は、集荷団体の協力を得て、県内6ヶ所で30a規模の現地試験を行い、平均実収量544kg/10a（コシヒカリ対比118%）の収量性と大粒・高品質を実証するとともに、さらなる多収目標（600kg/10a）に向けた課題も見えてきました（下図）。

「ひたち 34 号」は、平成24年4月より県奨励品種に採用し、関係機関協力のもと、種子生産体制の確立、栽培マニュアルの作成、販売力の強化、県内複数個所での安定多収試験栽培の計画を進めており、平成25年度の一般栽培開始を目指しています。

県オリジナルの水稲新品種が生産現場の経営安定化のお役に立てるよう取り組んでいきたいと思っております。（作物研究室）

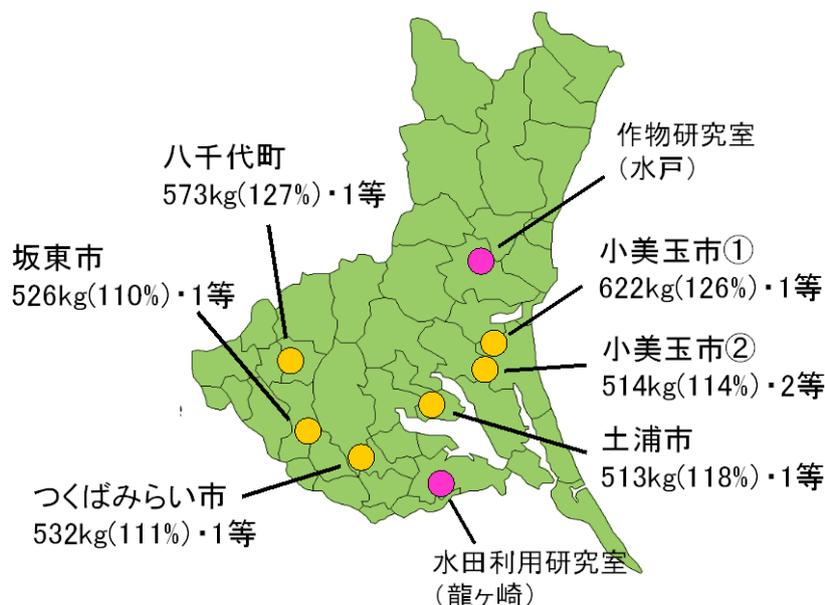


図 「ひたち 34 号」大規模現地試験の実施箇所、実収量 (kg/10a) および検査等級 (平成 23 年), 実施面積は 20~30a, (カッコ内)の数字は隣接したコシヒカリ圃場との収量比

茨城県が育成した、大粒で冷めてもおいしい「ひたち34号」を、本県のオリジナルブランド米として販売していくため、広く名称を募集します。詳しくはこちらまで

[http://www.pref.ibaraki.jp/topics/boshu/20120312\\_02/](http://www.pref.ibaraki.jp/topics/boshu/20120312_02/)

募集期間は平成24年4月10日（火曜日）まで、郵送の場合、当日消印有効です。すてきな名前をつけてあげてください。



茨城県農業総合センター農業研究所

〒311-4203 水戸市上国井町3402

TEL 029-239-7211 (代) FAX 029-239-7306

水田利用研究室

〒301-0816 龍ヶ崎市大徳町3974

TEL 0297-62-0206 (代) FAX 0297-64-0667

Mail nouken@agri.pref.ibaraki.jp

URL <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/nourin/noken/>